



種足小だより

NO. 3 6月号
令和5年6月1日
在籍児童数137名

大人は、誰も、はじめは子供だった

校長 青木 久永

シロツメクサの花が咲き、ケーンケーンというキジの力強い鳴き声に、野生の生命力を感じます。子供たちは、アサガオ・ミニトマト・ホウセンカ・ヘチマに水やりをがんばっています。梅雨入りも間近です。

新学期が始まって2か月。運動会では4年ぶりに人数制限を設けず、多くの保護者・地域の皆様に御来校いただきました。パワー全開で競技や演技をする姿をお見せでき、子供たちには大きな励みになりました。

また、6月10日(土)の第1回資源回収では、種足地区の皆様にはお世話になります。この収益金は種足小学校・騎西南幼稚園の教育活動に役立てられます。御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

6月からは子供たちが楽しみにしているプールの授業が始まります。プール掃除、加須消防署員による救命救急講習(AEDによる心肺蘇生)、監視体制の確認など、安心・安全には万全を期してまいります。

先日、地域にお住まいの方からお手紙をいただきました。「種足小だより」を毎月楽しみに読んでくださっていて、5月号の宮澤章二さんの詩に感銘を受けましたという旨の心温まる内容でした。地域の皆様のこうした温かい御支援に支えられて、種足小が成り立っているのだと実感しました。お手紙ありがとうございました。

一方で、下校時、気持ちが開放的になって児童が大きな声を出したり、いたずらをしたり、御迷惑をおかけしていることも学校は承知しており、指導をしています。お気づきの点がありましたら、その場で直接注意していただき、学校まで情報をくださると幸甚です。力を合わせて、種足の子供たちを育ててまいります。

かくいう私も、小学生の頃(昭和50年代)は、ここでは書けないような悪さをして叱られていたので、偉そうなことは言えません。当時は子供の数が多く、世間も子供に寛容でした。「お天道様が見ている」と親からは言われていましたが、「子供のやったことだから…」など、失敗が許されるおらかな時代でした。

今、私も「近頃の若者は…」という年齢になりました。実は、この言葉は、5千年前の古代エジプトの壁画にも書かれているのだそうです。そう考えると、人間の根本は、あまり変化していないのかもしれない。

『星の王子さま』で有名なフランス人の飛行士・小説家のサン=テグジュペリ(1900~1944)は、今も世界中で愛読されています。飛行士としての経験を素材に、豊かな想像力と人間の本質を見極める観察眼で、詩情豊かな名作を世に送り出しました。他にも『南方郵便機』『夜間飛行』、エッセイ集『人間の土地』があります。

余談ですが、ジブリ映画『紅の豚』で1920年代の飛行艇乗りを描いた宮崎 駿監督は、サン=テグジュペリの愛読者だそうです。主人公ポルコ・ロッソの言葉の端々には、監督の深いメッセージ性が感じられます。

サン=テグジュペリは、『星の王子さま』の献辞で、次のように書いています。(ゴシックの部分)

「大人は、誰も、はじめは子供だった。」(しかし、そのことを忘れずにいる大人はいくらもいない。)

学校では多くのことを学びます。学んで賢くなり、社会に役立つ大人になることが、学校生活の意義の一つと言えます。しかし、大人になる過程で、私たちは大切なことを忘れてしまっていないでしょうか。

初めて見るものに素直に感動する心、知らないことを知ろうとする好奇心、自由な想像力、新しい世界への飽くなき探求心など、これらは、誰もが子供の頃にもっていたものばかりです。生活の全てに、こういう豊かで純粋な感性があるから、子供たちは明日を生きることが楽しく、ワクワクしたものになるのでしょう。

学ぶことは素晴らしいことですが、学ぶことで子供の心を失ってしまうのは、とても残念なことです。それでは、子供が大人になり、子供の心をなくしてしまったら、その心は二度と戻らないのでしょうか。

いいえ、そんなことはありません。なぜなら、「大人は、誰も、はじめは子供だった」からです。大人の中には子供の頃の輝きが残っているのです。大人の誰ももっている子供の心。子供の頃には見えていたもの、本当に大切なことは、大人の心の奥底に眠っているのです。私も、そして、皆さんも。

「大切なものは、目に見えない」

それでは、目に見えない大切なものとは何か。その心を大人たちに思い出させることこそ、サン=テグジュペリが、『星の王子さま』を書いた意図だったのではないのでしょうか。

1年生は入学から2か月が過ぎ、急成長中です。授業中は背筋がピンと伸びて、先生の話をよく聞いています。先日、教室を訪れると、国語でひらがなの書き順を練習をしていました。学ぶことをみんな純粋に楽しんでます。「わかること、できるようになること」が嬉しくてたまらない様子です。表情がみんな輝いています。

私も1年生の頃はこうだったなあ。同級生で自分一人だけが縄跳びの縄を束ねることができず、悔して泣いたなあ、という50年近くも前の思い出が、昨日のここのように蘇ってきて、感傷的な気持ちになりました。

入学した途端に、「何もできない1年生」のような見方や捉え方をされる場合がありますが、それは大きな間違いです。なぜなら、3月まで幼稚園や保育園で年長組のお兄さん、お姉さんとして、園のリーダーだったのです。私は騎西南幼稚園の園長を兼務しているので、幼児から児童への発達の連続性がよく理解できます。

本校は、幼小連携で計画的に交流し、様々なことにチャレンジさせ、能力をどんどん伸ばしています。キラキラした目の輝き、純粋な心。これからも、目に見えない大切なものを持ち続けてほしいと願っています。

5/2 (火) 児童引渡し訓練



震度5の地震が発生したことを想定し、騎西南幼稚園と合同で、避難訓練・引渡し訓練を行いました。

保護者の皆様の御協力により円滑に子供たちを引き渡すことができました。ありがとうございました。

地震ばかりではなく、水害等の発生時においても同様に引渡しを行うことがあります。もしもの時に備えて引き取り人や連絡先の変更等がある場合は、速やかに担任までお知らせください。

通学路安全点検の結果について

引渡し訓練時や日頃の見守りの中で、通学路の安全点検に御協力いただきありがとうございます。提供いただいた情報をもとに、現地を確認し、以下の箇所について市に改善要望を行いました。

- ①ふるさと広場付近T字路…信号機の設置
- ②種足橋手前の交差点…継続した安全対策の実施
- ③新種足橋…グリーンベルトの修繕
- ④榎戸交差点…横断を待つ歩行者の安全対策
- ⑤泉蔵院付近T字路…路面標示と標識の修繕



他にも通学路の危険箇所がありましたら、教頭（73-0199）まで御連絡ください。現地を確認の上、対応を検討します。

スクールカウンセラーの来校について

毎月1回、木曜日、午前午後のいずれかに来校し、専門的な立場から教育相談を実施しています。

本校には、池田 慎哉（いけだ しんや）先生が担当しています。今年度の来校予定は以下のとおりです。予定が変更となることもありますので、御希望がありましたら教頭（73-0199）宛に御連絡ください。

【来校予定日】

6/22 AM、 7/20 PM、 9/14 AM
 10/12 PM、 11/9 AM、 12/14 PM
 1/25 AM、 2/22 PM、 3/21 AM

6月の主な行事予定

日	曜	行 事 等
1	木	5時間授業、プール掃除、表札訪問①
2	金	読み聞かせ1年、プール掃除予備日 5時間授業、表札訪問②
3	土	
4	日	
5	月	新体力テストWeek 給食費等口座引落し
6	火	5時間授業、新体力テストWeek、 表札訪問③
7	水	4年社会科見学、心臓検診予備日
8	木	救命講習（AED）
9	金	読み聞かせ2年、3年社会科見学
10	土	第1回資源回収
11	日	資源回収予備日
12	月	校内硬筆競書会、委員会活動
13	火	
14	水	第1回学校応援団会議 尿検査（2次）、硬筆展公開①
15	木	硬筆展公開②、給食費等口座引落とし2回目
16	金	硬筆展公開③
17	土	樹木消毒
18	日	樹木消毒予備日
19	月	クラブ③、教育相談日
20	火	鴻葦小プール使用日①
21	水	6年社会科見学、尿検査（2次）予 備日、ふれあいデー（16:30 退勤）
22	木	鴻葦小プール使用日② スクールカウンセラー（午前）
23	金	読み聞かせ4年 第1回学校評議員会
24	土	
25	日	
26	月	クラブ④ 鴻葦小プール使用日③
27	火	鴻葦小プール使用日④
28	水	5時間授業、学習参観、5年臨海学校説明会、 第1回学校保健委員会、第3回PTA役員会 親子歯みがき 13:20～
29	木	表彰集会、鴻葦小プール使用日⑤
30	金	読み聞かせ5年、4年自転車免許講習

7月の主な行事

- 4日（火）～7日（金）B日課5時間
- 10日（月）そうじWeek、委員会活動
- 18日（火）5時間 一斉下校（こども110番の家訪問）
民生児童委員会
- 19日（水）給食終了、大掃除、5時間 一斉下校
- 20日（木）第1学期終業式、一斉下校
- 21日（金）夏季休業日（～8/28）、臨海学校1日目
- 22日（土）臨海学校2日目
- 24日（月）～28日（金）、31日（月）
教育相談Week（個人面談）

※変更がある場合は、メール等で連絡をします。